

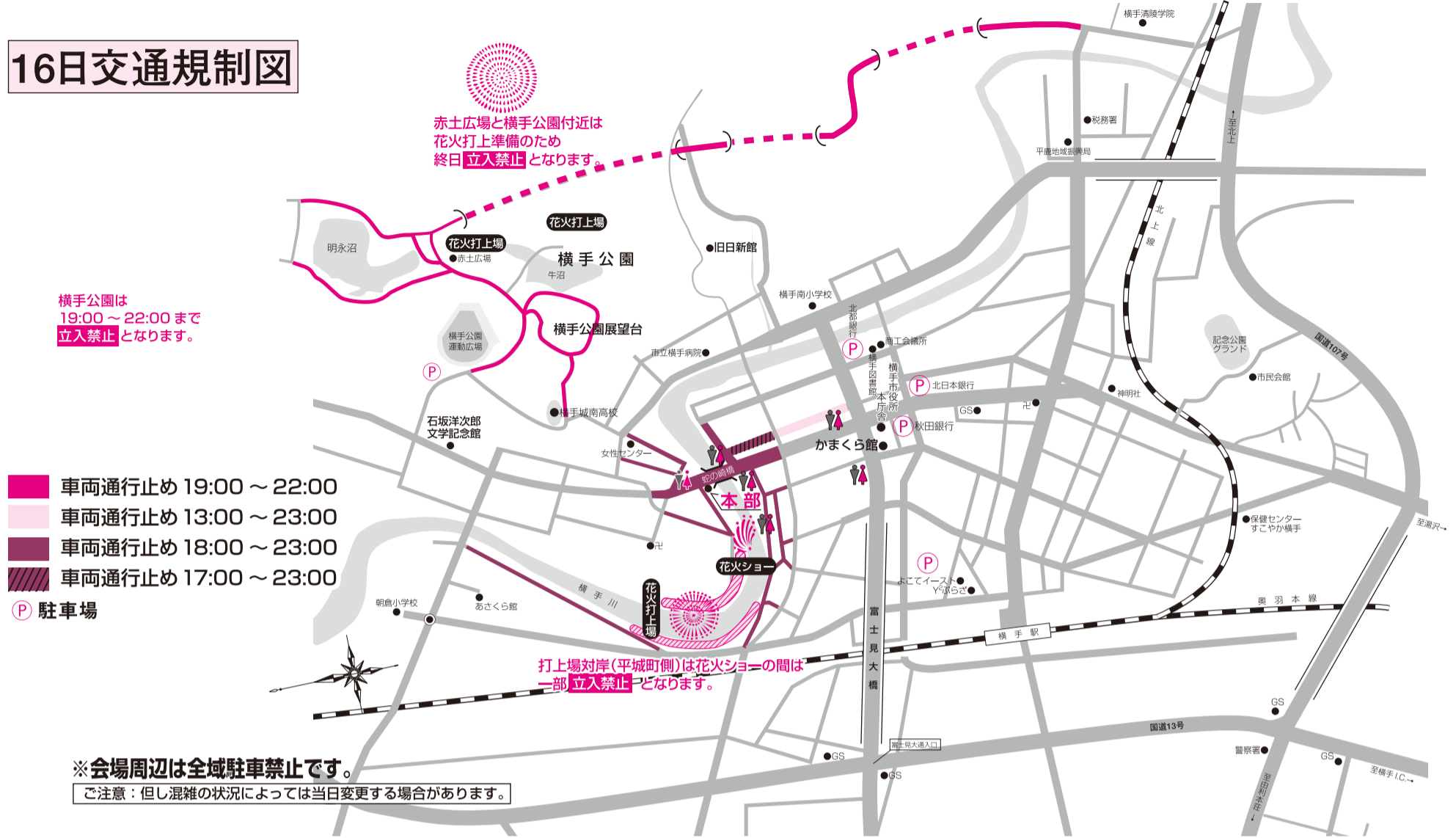
2017

送り盆まつり

8/16水

交通規制図 まつり見どころ

16日交通規制図



《お願い》

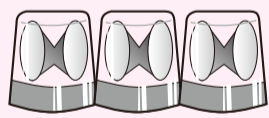
- ① 打上げ現場付近及び風下での自動車の駐車はご注意ください。万一煙火のモエカスで塗料を傷つけても当方では責任を負い得ません。もし不発玉や不発火薬を見つけたら、すぐに主催者又は警察官等に届けて下さい。
- ② 花火の打上げ現場は大変危険ですから、立入禁止区域内には絶対に入らないで下さい。
- ③ 打上げ終了後、並びに翌日も不発煙火、その他危険物が現場付近に落下しているおそれがありますので、事後処理が終了まで立入を禁止します。
- ④ その他警備警戒員の指示指導に従い、事故防止にご協力願います。

まつり見どころ

屋形舟繰り出し・協賛花火打上ほか

秋田県指定無形民俗文化財送り盆まつり【祭りの由来】

江戸時代の中期過ぎ、当地方は度々大飢饉におそわれ、特に享保・天明・天保の頃の惨状は甚だしかったといわれます。送り盆まつりはこれら大飢饉で亡くなった人を供養するため、約300年前、柳町町内が屋形舟を作り、柳を添え枝に法名を書いた短冊を下げ、川原に繰り出して霊を供養したのが始まりと伝えられています。



パトライトの黄色回転灯を合図に繰り出す屋形舟は圧巻です！
20:00頃～

まつりスケジュール

【蛇の崎橋橋上】

- 17:00～ 橋上観覧席販売開始 (2,000円/1人)
- 18:00～ 入場開始

【蛇の崎川原】

- 18:30頃 屋形舟繰り出し (往路)
- 19:30頃 花火ショー
- 20:00頃 屋形舟繰り出し (復路)

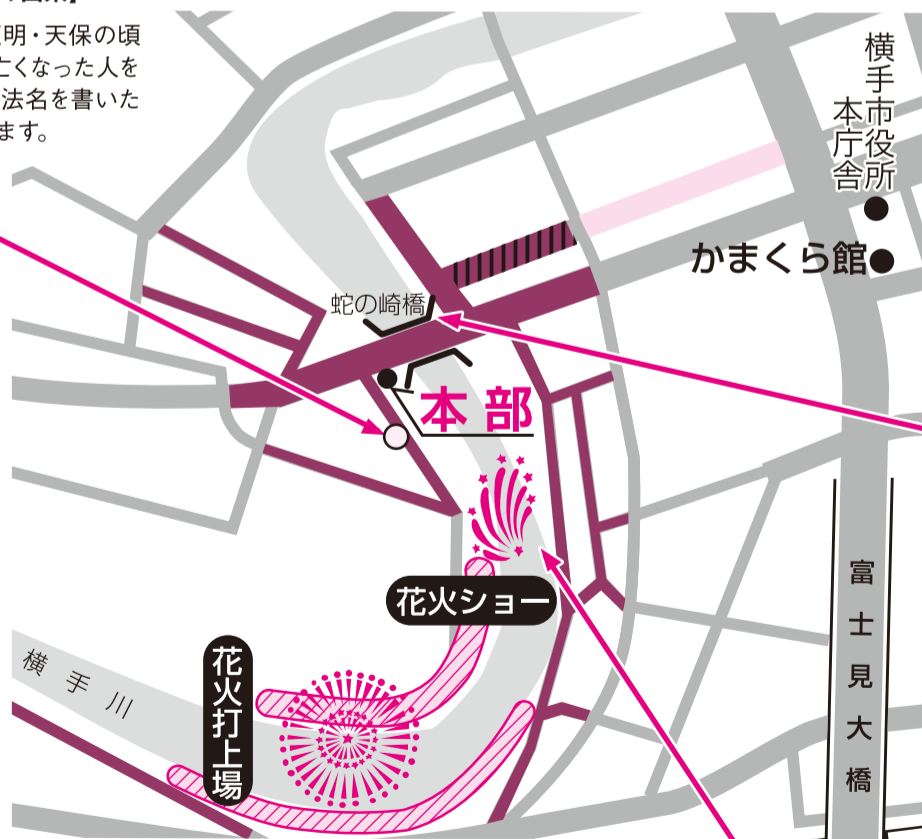
【横手公園付近】

- 20:00頃 協賛花火大玉打上げ

※天候により、時間が変更となる場合があります。

なぜ、舟をぶつけるの？

屋形舟を川原に繰り出して死者の霊を弔うというのがそもそもの送り盆の由来です。弔った後の帰りには舟をぶつけ合って若衆のエネルギーを発散させたのが今のお祭りになりました。そのため、ぶつけ合いの勝ち負けや判定などは特にありません。



屋形舟繰り出し

各町内の横手若衆が屋形舟を繰り出し、御霊を送ります。川原で供養を済ませた舟は、蛇の崎橋の上で迫力あるぶつけ合いを繰り広げます。

橋上観覧席を販売

- ◆販売開始
8月16日(水) 17:00～
観覧席入場は18:00～
事前予約は受け付けません。
- ◆販売場所
蛇の崎橋上流側歩道の受付
- ◆価格
お一人 2,000円
- ◆注意事項
観覧席内は禁酒、
カメラの三脚の持込禁止

花火ショーを見るなら…… 協賛花火打上

川原での花火ショー終了後は、屋形舟をバックに横手公園から花火が打ち上げられます。